

KIFA Report

河内長野市国際交流協会



Vol. 116

Jul. 2021



ベトナムのドクさんが出演する
ミュージックビデオの撮影風景

- 会長退任のごあいさつ
- 新会長就任のごあいさつ
- 2021年度国際交流協会総会報告
- 姉妹都市便り～アジア系アメリカ人サポート～
- ベトナムのドクさんとの交流から生まれた歌
- フィリピンの学校との交流
- 多文化の部屋～ハワイ好きな人集まろう!～
- インフォメーション



会長退任のごあいさつ

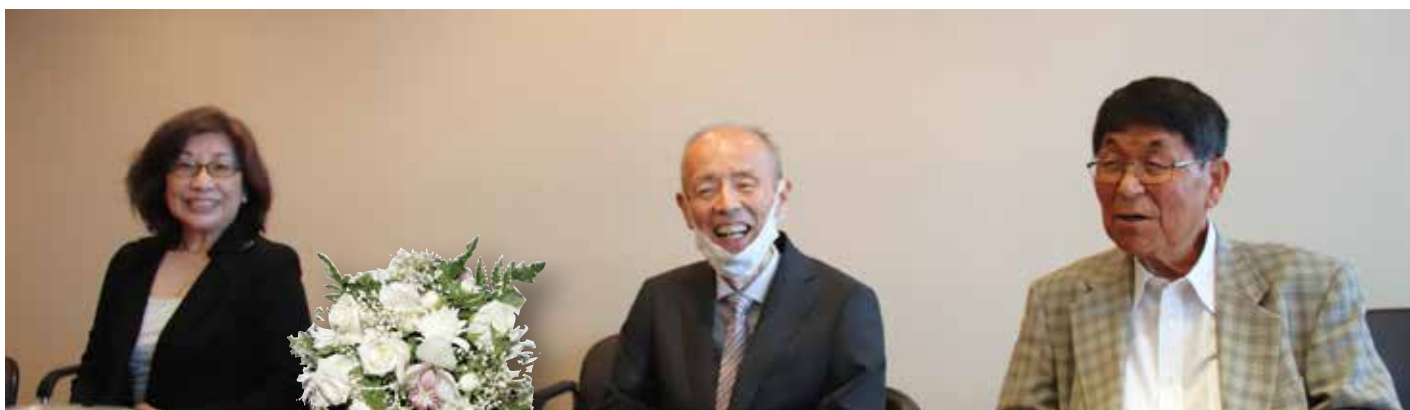
山本 明彦

2005年に河内長野市国際交流協会の会長に就任した当時、KIFAは関西の数ある国際交流団体の中で最も活気があって且つ幅広く活動している団体として既に名を馳せた存在でした。それは会員の皆様一人ひとりの熱心なボランティア活動の成果であることに先ず就任のあいさつで感謝を申し上げた事を記憶しております。そして、さらに16年を経て、この度、会長を退任させていただくに際して、KIFAへの感謝の気持ちは変わることなく、むしろ幾倍にも深みを増して、言葉で表現のすることのできない思いがこみ上げてきております。本当に心から皆さんにお礼申し上げたいと思います。

KIFAが創立して2年後に念願の姉妹都市提携をアメリカインディアナ州のカーメル市とスタート致しました。20年間市長を勤

め、且つ今も現役のブレナード市長は、最初に河内長野を訪れた時に「我々の交流は未だ赤ちゃんです。赤ちゃんには栄養が必要です。そしてその栄養は両市民の継続した努力です」と述べられ姉妹都市提携は双方のたゆまぬ努力が必要であると言われたことが非常に印象に残っています。

来る2022年にはKIFAが産声を上げて30周年を迎えます。人間でいえば仕事も分かってきて社会で活躍し始める年齢です。姉妹都市交流に限らず、KIFAが培ってきた国際交流の経験と実績を十分に活かし、世界中のみんなが仲良く楽しく暮らせる多文化共生社会を作り上げたいと思います。新会長の柴さん、よろしくお願い致します。



新会長 柴 理梨亜氏

元会長 山本 明彦氏

副会長 飯阪 保氏



新会長就任のごあいさつ

柴 理梨亜

山本会長よりバトンを受け取り、これからも河内長野市民が心豊かにこのグローバルな時代を平和に満喫できるよう、多文化共生社会の実現に力を注いでいきたいと思います。山本会長には長年当協会の活動を導いてくださり、心から感謝しております。これからも、よきアドバイザーとして末永くご支援よろしくお願い致します。

1991年半ばに当協会の設立に向けて、近隣の国際交流団体を視察訪問していた時期があります。その時に同行していた次女もすでに30歳!協会と共に歩んできたこの30年は私の人生の大切な部分でもあり、ともに活動してきたボランティアの方々も家族のように大切な存在です。皆さんのサポートがなければ、今までの活動はできなかったでしょう!そして、忘れることができない初代会長の山本定男氏が示してくださった国際交流協会が果たすべき役割のひとつに「新しい時代に適応できる青少年たちのために、どの国の人々に対しても理解されるエチケット、相手の文化と習慣を理解する心構え、心温まる交流などを身につけるための知識と経験を得る機会を提供する」がありました。これを念頭において、新しい時代のニーズに合った活動も取り入れ、多くの市民の方々が賛同して参加していただけるような河内長野市国際交流協会であり続けられるように、チャレンジ

精神を忘れることなく前に進みたいと思います。

市民から募集して選ばれたKIFAのシンボルマークに込められた作者(浅川徹氏)の思いは「地球レベルで世界各国の人と手と手をつなぎ…お互いに理解を深めることが大切です。」これは当時も今も同じ。人と人がお互いに理解し合い、違いを尊重し認め合うことから、この世界の平和を築き上げることができると。是非皆さんもこの平和に向けた国際交流活動に力をお貸しください!

柴 理梨亜さん プロフィール

アルゼンチンのブエノス・アイレスで生まれ育った日系三世。日本に留学した際に知り合った現夫と結婚するため27歳で再来日。外資系の監査法人に勤務し、長女出産後に退職。1988年に河内長野に引っ越し、大学の非常勤講師の傍ら翻訳や地域のボランティア活動をしている。



新事務局長

山本 直嗣氏

河内長野市国際交流協会 2021 年度総会報告



2021 年 6 月 27 日 ご来賓の皆様と今年度 KIFA 理事・監事

島田市長より
花束贈呈

6 月 27 日に、コロナ禍で順延となっていました、2021 年度河内長野市国際交流協会の総会が開催されました。河内長野市長、島田 智明氏をはじめ、沢山のご来賓の方々においでいただき、新事務局長、山本 直嗣氏の司会で総会が始まりました。議長に榊村 博子氏を選出し、令和 2 年度事業報告・決算報告、人事変更、令和 3 年度事業計画案・予算案などが審議され、無事承認されました。

人事変更では、長年 KIFA のリーダーとして活躍いただいていた、山本 明彦氏が第一線を退かれ、名誉会長となります。後任には、副会長の柴 理梨亜氏が就任され、理事の榊村 博子氏が副会長に就かれます。コロナの影響もあり、中々活動も思うように進められないところもありますが、山本元会長が常々おっしゃっている「外国人に優しい街づくり」「多文化共生」を目指して、更に邁進しようと参加者一同が気持ちを新たにしました総会でした。

事務局長 就任のごあいさつ

4 月に事務局長に就任いたしました山本直嗣と申します。^{ただし}縁あって国際交流協会の仕事をさせていただくことになり、とても嬉しく思っています。というのも KIFA との関りは実は今回が初めてではないからです。

大学卒業後に 10 年間奉職した大阪 YMCA から、河内長野市内の塾に來たのが 1990 年。進学だけではなく英会話の教室もありましたので、受験指導の他に、英会話のクラスも担当して、夏には外国人講師も一緒にキャンプに行ったり、秋のハロウィンで仮装した子どもたちが商店街をパレードしたりしていました。また、インターナショナルスポーツデイと称して YMCA の外国人留学生たちと 4ヶ国語のアナウンスのもと、運動会で汗を流したことを思い出します。当時は国際交流の大きな流れがあり、私立学校では姉妹校提携や海外への修学旅行なども増え始めていたように記憶しています。

そのような時代の要請を受けて 1992 年 2 月に河内長野市に国際交流協会が設立され、教室のスタッフ全員が KIFA に入会しました。

最初の入会当時とは年齢が違いますので、体力的には及びませんが、今までの様々な経験を活かして皆さんのお手伝いをしてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2021 年度 KIFA 役員 理事・監事

理事	会長	柴 理梨亜	個人
理事	副会長	榊井 繁春	河内長野市
理事	副会長	飯阪 保	個人
理事	副会長	榊村 博子	個人
理事		藤本 眞裕	河内長野市教育委員会
理事		曾和 宗陽	河内長野市文化連盟
理事		新谷 博一	河内長野ライオンズクラブ
理事		山崎 一弘	河内長野ロータリークラブ
理事		森野 章二	(学)清教学園
理事		山田 浩	大阪府立長野高等学校
理事		赤土 壽典	(学)千代田学園
理事		浦 繁子	河内長野市地域女性団体協議会
理事		生地 孝至	河内長野市歯科医師会
理事		大原 一郎	河内長野市日本中国友好協会
理事		讃岐 巳樹也	(社)河内長野青年会議所
理事		辻 秀和	個人
理事	会計	上田雄三郎	個人
理事		永島 和佳	個人
理事		王 政	個人(中国)
理事		Young Huyen Emura	スイスアカデミー(スイス)
監事		土生 裕史	河内長野市医師会
監事		寺本 悟	公認会計士
名誉会長		山本 明彦	個人(河内長野ガス)

アジア系アメリカ人
コミュニティ支援集会

Gather in Support for our Asian American Community

2021 年 4 月 28 日 アメリカ インディアナ州 カーメル



歓談するカーメル市長 ブレナード氏

「アメリカは自由と平等の国」「頑張ればいつかは成功できる」このような言葉で表されてきたアメリカ。世界中からそのアメリカン・

ドリームを胸に、数え切れない民族・人種の人々がアメリカに渡り、それぞれの道を切り開いてきたというのは多くの人が持っているアメリカのイメージです。

ところが、実際には物事はキレイ事ばかりではありません。その中でも、人種差別はアメリカの歴史に暗い影を投げかけています。黒人に対する差別はもちろん、日系アメリカ人も第 2 次世界大戦のときには、強制的に収容所に送られ、不自由で屈辱的な生活を強いられたことが知られています。日系人だけではなく、他の国にルーツを持つ人達も、様々な差別を経験してきました。

2020 年に中国から世界中に広まったとされる Covid-19 は、その差別をアメリカ国内でエスカレートさせることになりました。急激な勢いで世界中をパンデミックの渦に巻き込んだウィルスへの恐怖が、アジア系アメリカ人への差別と憎悪となってしまいました。もちろん、すべてのアメリカ人がアジア系の人たちを敵視したわけではありません。

このような情勢の中、河内長野市の姉妹都市、アメリカ インディアナ州 カーメルで市民が立ち上がり、“Gather in Support for our Asian American Community”（私たちのアジア系アメリカ人コミュニティの支援のために集まろう）という集まりが開かれました。会場は人々の密集を避けるため、屋根が高くても十分な、カーメル市消防署が選ばれました。任期 7 期目のブレナード市長は、カーメルは生活し、働き、子どもを育てるのに最適な場所であることを強調しました。カーメルはすべての人に安心・安全を提供すること、市内のコミュニティのあらゆる人を守ることを改めて宣言しました。そして “Hate has no place in Carmel.”（カーメルに「憎しみ」の居場所はない）と結ばれました。続いて、カーメル警察署長が、安全で誰でも受け入れる環境を提供していくことを述べました。その後、インド系、中国系、韓国系アメリカ人のみなさんがスピーチされ、この 1 年が非常に大

変な年であったこと、差別や身体的・心理的な暴力には声を上げてほしいことを訴えました。傍観者になることをやめて、互いに支え合おうと、メッセージを発しました。アメリカ原住民をのぞけば、すべてのアメリカ人が移民でありその子孫なのです。特別に扱ってほしいのではない、平等に扱ってほしいだけだと訴えました。Japan America Society of Indiana（インディアナ州日米協会）の会長は、職場から 60 マイルも離れているのにカーメルに住みたい人が多いという例をあげ、カーメルがいに生活、仕事、子育てに最適な場所であるかを述べられました。日米協会にはこの一年、「日本へ帰れと罵声を浴びせられた」「護身術のクラスをうけるべきだろうか？」などという深刻な相談が寄せられてきたそうです。カーメル姉妹都市委員会の新しい会長、エヴァン・クルーツァー氏は 3 年前に日本に行ったこと、名前も知らない河内長野に滞在して、ネットで調べたら自分たちが住むカーメルと姉妹都市であることを知ったという経験談を話しました。姉妹都市の人々が自分たちがまるで親善大使であるかのようにもてなしてくれ、彼らがカーメルに対して親密な尊敬の念を持っていると感じたと述べました。姉妹都市交流を通じて



エヴァン・クルーツァー氏

互いの文化を学び合い、友情を育て、そしてそれが人種多様性を重視するカーメルで 30 年近くも続いていることは、素晴らしい、9 月には二人目の子どもが生まれるので、またいつか河内長野を訪れたい、と結ばれました。集まりの最後では、Advancement of Asian Americans in Arts and Athletics（アジア系アメリカ人芸術・スポーツ振興会）の副代表の紹介で学生達による中国と韓国の曲が演奏されました。

YouTube で配信されたこの集まりの様子は、様々なバックグラウンドを持つ人々が穏やかに集まり、互いを支え合おうという気持ちに溢れた良きアメリカを感じられるものでした。

人種差別、ヘイトスピーチは日本でも問題になっています。わたしたちも傍観者でいるのではなく、声を上げることが必要とされていると感じました。

（カーメル市交流活動事業部 後藤 晴美）



ベトナム コンソン島で絵画指導する内本氏



UST アンジェリカム学園との交流授業

3月1日(月)、5月20日(木) 河内長野市メディアセンター

3月1日に UST アンジェリカム学園との交流授業が美加の台小学校でおこなわれました。2012年から続いているフィリピンのダンスグループとの交流を率いているランディ・レロ氏と一緒に来日したことのあるグレース・ヒラリオ先生とのつながりによるものです。初めての顔合わせでしたので、両学校の紹介からスタートしました。美加の台小学校の3年生は参観日用の音楽発表会を準備していましたが、コロナで参観は中止となり、ビデオどりの練習を兼ねて、音楽の先生がビデオ交流のための時間を作ってくれました。フィリピン側は子供たちが自宅からリモートで自己紹介と好きな日本のことばを紹介し、最後に映画「アナと雪の女王」の歌を日本語で皆んなで歌ってくれました! 日本の子どもたちはフィリピンの子どもたちが日本語で歌っていることにすごく感心してい

20日に河内長野市メディアセンターにおいて、美加の台小学校の6年生が交流プログラムに参加しました。お互いに伝えたいことがたくさんで時間が足りないほどの密度の高いやり取りでした。描いた絵の説明をしたり、質問したりされたりで楽しい時間があったという間に過ぎてしまいました。最後は画面同士みんな手で振って名残を惜しみ、30分間の予定を超えた40分以上の交流を終えました。

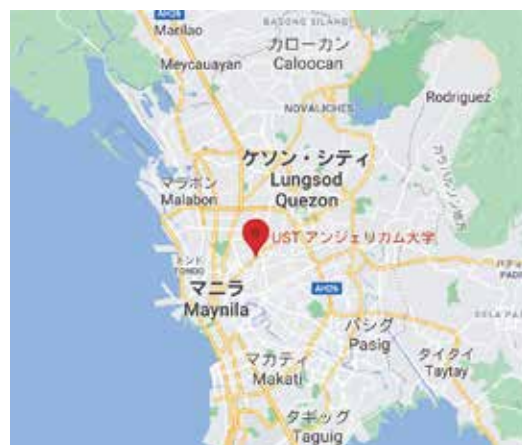
児童たちはフィリピンの友人とモニター越しの交流をする中で、相手の子どもたちがコロナで生活を制限されて学校に行けず、それぞれの自宅からリモート参加している様子にも、きっと感じるものがあつたことでしょう。



ました。

その後、年間を通じた交流実現の話がまとまり、河内長野市メディアセンターの協力のもと、美加の台小学校に限らず、市内の学校で UST アンジェリカム学園との交流事業を進めることになりました。

そして、今年度の第一回目として、5月



★USTアンジェリカム学園は、マニラにある小・中・高・大学の一貫校です。地図ではUSTアンジェリカム大学となっています。

●日本語サロン

日本語サロンは、新型コロナウイルスの感染状況、ワクチン接種の拡大状況などを考慮して、もうしばらくお休みします。

再開することが決まりましたら、河内長野市国際交流協会のホームページなどでお知らせいたします。



●語学クラス スケジュール

コース		英語 フリー トーキング	英語 (中級)	英語 (初級)	中国語 (初級)	中国語 (入門)
時間		14:00~15:30	19:00~20:30	19:00~20:30	19:00~20:30	10:00~11:30
開講日	8月	休講	休講	休講	休講	休講
	9月	11	14・28	7・21	3・17	1・15
	10月	9	12・26	5・19	1・15	6・20

■夏休み子ども絵画教室

河内長野市の姉妹都市、アメリカ インディアナ州のカーメル市に、ギネスブックで公認の「世界一小さい子ども美術館」があります。そこにあなたの絵を飾ってみませんか？

今年のテーマは「宇宙をかこう！始まりはビッグバン！」

- と き：8月8日(祝) 13:00～17:00
- ところ：市民交流センター 4階 創作工房
- 定 員：先着24名(対象：市内小・中学生)
- 参加費：500円(参加申込みは7月7日から)
- 持ち物：水彩絵の具セット、エプロン、飲み物
- 内 容：①姉妹都市カーメルについて学ぼう

②姉妹都市に送る作品を作ろう
※当日は、(特活)アートコミュニティ主宰の船本先生の指導を受けながら制作します。

- ◎作品は姉妹都市カーメルへ送るため返却できません。
- ◎賞状と作品のカラーコピーを、後日学校を通じて差し上げます。



～夏季休業のお知らせ～

8月12日・13日・14日は
事務局はお休みとさせていただきます。
(15日・16日は定休日)

■世界とつながろう！

KIFA特製のパスポートを手に、6カ国のブースを回り、その国の人たちから、いろいろ教えてもらいます。

- と き：8月22日(日) 13:30～15:00
- ところ：市民交流センター 3階
大会議室AB
- 定 員：先着20名(対象：市内小学生)
- 参加費：無料(参加申込みは電話で8月7日から)

設立30周年記念ロゴ

1992年に産声を上げたKIFAは、2022年に設立30周年を迎えます。それを記念してロゴを作成しました。30周年に向けて様々なイベントに使用していきます。



■世界の国旗・国歌コンサート

国旗の第一人者、吹浦忠正氏と、国歌を通じた国際友好親善活動でご活躍のソプラノ歌手、新藤昌子氏をお迎えして、世界の国旗・国歌コンサートを開催します。

- と き：8月29日(日) 13:00～15:00(開場 12:30)
- ところ：市民交流センター 4階 イベントホール
- 参加費：無料
- 定 員：140名(先着)
- 申込み：電話またはメールでKIFA事務局へ
8月7日(土)より受付



進藤 昌子氏



吹浦 忠正氏



■ごった煮実行委員会スタート！

昨年はコロナのために中止となった「World Potluck 世界ごった煮」ですが、今年は12月5日(日)の開催を予定しています。コロナ禍であるからこそ、皆さんとともに、楽しい一日を作り上げたいと思います。

7月24日(土)に集まって顔合わせし、今年の案を練り始めました。

今だからできること、今だからやりたいこと、企画案、募集中です！ぜひ、KIFA事務局まで、ご連絡ください。



■HEART Global (ハート グローバル)

HEART Global は、ヤングアメリカンズの教育プログラムを作り上げてきたメンバーが新たに設立した表現教育団体です。音楽を通して、世界中で繋がりを築き、次世代を育んでいくことをミッションに掲げています。学校や地域に音楽出張授業を行う「ミュージック・アウトリーチ」や、オンラインによる表現教育プログラム「Global E-workshop」など、さまざまなプログラムを実施しています。来年度は河内長野でワークショップを開催予定です。



コース	スペイン語 (初級)	韓国語 (中級)	韓国語 (初級)	韓国語 (入門)
時間	19:00～20:30	13:00～14:30	10:40～12:10	15:00～16:30
開講日	8月	休講	休講	休講
	9月	3・17	8・22	8・22
	10月	1・15	13・27	13・27

■問い合わせ・申込み■

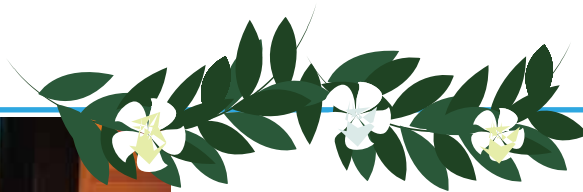
河内長野市国際交流協会(KIFA)
事務局

〒586-0025 河内長野市昭栄町7-1
市民交流センター(キックス) 3階

TEL: (0721)54-0002

FAX: (0721)54-0004

Eメール: office@kifa-web.jp



多文化の部屋

～ハワイ好きな人集まろう!～

7月10日(土)

市民交流センター イベントホール



ゲスト：ヨギ・亜貴さん

「多文化の部屋」は、地域在住の外国人や外国生活の経験のあるゲストを中心に、気軽に異文化交流が出来る場です。今回のゲストは、「英語でフリートーキング」でお世話になったハワイ出身のパトリックさんの奥様、ヨギ・亜貴さんです。ヨギ・亜貴さんは、ハワイ生まれの日系三世で、ルーツは沖縄。長年ハワイに住まれて、オプション・ツアーの仕事などもされていたそうです。いつもなら、ゲストを囲んでのお話だけですが、今回は、ハワイのお話なら、是非参加して盛り上げたいというお申し出があり、3つのハワイアン関係の団体にも参加いただきました。通常は会議室でこじんまりなのですが、今回は舞台が必要ということで、急遽イベント・ホールに変更しての開催となり、「多文化の部屋」が「多文化の大部屋」となりました。梅雨明け前で、前日の雨、雷のこともあり、ちょっと心配しましたが、当日はまずまずのお天気でした。用意した椅子は、ほぼ満席。座席にはアロハシャツやフラダンスの衣装もちらほらしていて、もうハワイムードが漂っています。

ハワイは、日本人にもなじみの深い、オアフ島、ハワイ島などの8つの島からなるアメリカの州で、多数の日系人が住んでいます。元々はポリネシア系のハワイ王国であり、アメリカ本土とも離れており、熱帯性気候も相まって、独自の自然や文化が残されています。

ハワイの学校は午前8時から午後2時まで。放課後は何をするかというサーフィン三昧だそうです。そのせいなのか、ハワイ州の子どもたちの学力は全ての州の中でも最下位に近く、裕福で教育熱心な家庭では、早くからアメリカ本土の学校に行かせるそうです。

ハワイ旅行をするときに知っておいた方がいいことをいろいろ教えていただきました。こってりした肉料理に飽きた時、さっぱりした料理の食べられるお店の話。日本人が一番戸惑うチップの話。小銭がない時、チップはどうしますか?チップを渡してお釣りを貰うというのは英語力がないと難しいそうです。では、どうすればいいのか? 答えはチップを渡そうとしている従業員に両替をお

願いするのだそうです。従業員のポケットにはチップで貰った小銭が一杯なので、気軽に応じてくれるそうです。

「年金生活でも、ハワイに住める?」という質問も飛び出しましたが、ハワイは物価が高く、私たちが想像している以上に、住居費や生活費がかかるため、ちょっと難しいようです。

一番ほっこりしたのがハワイ語の話でした。ハワイで乗り合いバスに乗ると、運転手がしきりに「Please kokua.」(プリーズ コクア)という言葉をかけてくれます。Kokua というのは、英語ではなくハワイ語で、助け合い、譲り合いのことだそうです。そういえば、東日本大震災の後すぐに、Kokua For Japan というプロジェクトがハワイで立ち上がったことを思い出しました。その時は意味が解らなかったのですが、そういう意味だったんですね。日本でも、ともすれば忘れがちなコクアをずっと引き継いで行きたいものです。

短い休憩を挟んで、ハワイアンショータイムとなりました。ウクレレの生演奏と優雅で優しいフラを堪能しました。

(出演していただいたのは、「アヌエヌエ ハワイアンクラブ」「ハーナウ フラ」「ハラウ オ リリノエ 吉田教室」の皆さんでした。)



年に4回発行のKIFAレポートですが、前号4月号は感染拡大防止対策に伴う種々のイベント休止などから、休刊となりました。今号は今年2回目の発刊となります。

編

集

後

記

何年か前のことですが、市外のとある駅で、エスカレーターに乗るときに山本会長とすれ違ったことがありました。咄嗟に「こんにちは」とご挨拶したところ、会長はいつものあの穏やかな笑顔で「こんにちは」と返して下さいました。ほんの一瞬のことでしたし、私はKIFAに入って間もない頃だったので、会長が私のことを認識されていたかどうかはわかりません。にもかかわらず、日頃お見かけするのと同じにっこりした笑顔で挨拶を返して下さいましたことがとても嬉しく、会長のお人柄を感じた出来事でした。

いつでも誰にでも温かい笑顔と優しい物腰で、たくさんの人をつなぎ、KIFAを支えて下さった山本会長が、このたびご退任されました。長年の会長職、お疲れさまでした。誠にありがとうございました。どうかこれからも、KIFAの活動へのご支援、ご参加よろしく願いいたします。

無料

メールマガジン
配信中!

KIFAの楽しいイベントや情報を
いち早くお知らせします。

お申し込みは、事務局または、KIFA
ホームページから

chihiro

<http://www.kifa-web.jp/>

